

Z  
MAGAZINE

2010 No.38



Shizuki Asato Solo Debut

10<sup>th</sup>  
Thanks for  
your love  
Anniversary

巻頭特集

SHIZUKI ASATO OSAKA ONLY LIVE スペシャルレビュー

ミュージカルロマンス

「ドラキュラ伝説～千年愛～」公演記念ロングインタビュー

Sepuluh×Sepuluh 誌上特別レポート

緊急告知!

新作ミュージカル“Diana”チケット優先予約開始!  
7月ティーパーティー開催決定!ほか

巻頭特集

SHIZUKI ASATO  
OSAKA  
ONLY LIVE  
2010 3.13-3.14  
スペシャルレビュー

歩んできた日々、  
そして新たな日々へ

3月13日、14日の2日間、大阪大丸  
心斎橋劇場で開催された「SHIZUKI  
ASATO OSAKA ONLY LIVE」。

30代をまっすぐに歩んできた姿月  
あさとが、故郷でその区切りの日を迎  
え、そしてまた新たな未来を目指すた  
めに開かれたスペシャル・イベントです。

日本中から大勢のファンが、この日の  
姿月を祝うために、これからの姿月を  
応援するために集まってくれました。  
曲目の紹介はもちろん、コンサートに  
まつわる様々なエピソードも織り交ぜ  
ながら、この記念日を振り返ってみま  
しょう。

# 大切な場所で 感謝をこめて



今回のこのパースティコンサートの構想は、じつは昨年の秋に大阪でテイ・パティが開催された頃に生まれたものです。

しばらく活動を休止していた自分を再び温かく迎えてくれた故郷・大阪のファン達に、いつもは東京などへ遠征してくれていることへのお礼も兼ねて、いつか大阪限定のコンサートをプレゼン特したいとその時姿月は考えていました。

その後、年末に東京限定でテイ・パティが開催されることが決定、次は関西以西の皆さんに今までのお返しをしたいという想いがいよいよ強くなり、姿月と事務所の検討の結果、ついに開催が決定したのです。

ミュージカル「ドラキユラ伝説」の公演も控えており、コンサート開催までにはかなりタイトなスケジュールでしたが、年が明けると同時に澆刺と準備を進めていく姿月。

コンサートとミュージカルという全く異なるステージを同時期にこなすということは、普通は気持ちの切り替えの上で難しいものがあるのでは、と考えますが、彼女は逆にそれがいい意味での気分転換になり、相乗効果でどちらにも気持ちを入れ込めることができるんだと、スタップに語ってくれました。

じつに姿月あさこらしい、と皆さんも思いませんか？

また、同じ理由からこのライブでは「歌う」ことを充分に楽しみたいという本人の強い希望があり、昔からの姿月ファンにはおなじみの楽曲や最近のレパートリーに加えて、初めて披露する曲も数多く選ばれ、パリエーション豊かな楽曲が並ぶことになりました。

本番前日の3月12日の朝、姿月やバンドメンバー、ステージスタッフに先駆けて、我々「EYE」スタッフは東京から車で大阪に向かって出発しました。

長い道中、運転を交代しながら、

携帯電話で様々な交渉をギリギリまで続けます。明日からのライブがファンの方達にとって、そして姿月あさこにとって、少しでも多くの思い出になる様に。

ようやく大阪の大丸心斎橋劇場に到着して会場に荷物を運び入れた時には、夜8時を回っていました。がらん、とした設営前の会場を眺めながら、明日からのライブの成功を想います。

翌朝からは、今度はステージスタップによって舞台設営が行われ、バンドメンバーの到着と同時にレパートリー開始、そして、いよいよ本番がやっきます。



## 2010.3.13 5:30PM

シンフォニックなBGMから一転、昨年末のテイ・パティでもオープニングを飾ったデイスコチューン「Boogie wonderland」のジョートに乗って、ソウルフルな歌声を響かせながら姿月あさこが登場！

ステージで披露するのはまだ3回目のはずのこの曲が、もうすっかりレパートリーに感じられるのは、リハーサルを重ねてきた彼女の努力ももちろんですが、このステージを姿月がリラックスして楽しんでいることも大きいのではないだろうか。

「えー皆さん、本日はようこそ『OSAKA ONLY LIVE』にお越しくださいました！私、姿月あさこです！」

本日39歳最後の夜を、ファンの皆さんと一緒にごうて歌を歌って、思い残すことなく過ごそうと、こういう日を作ってみました。……どうぞ、最後まで楽しんでくださいー！

オープニング曲が終わり、姿月の挨拶に続いてバンドメンバーの紹介。一緒にテイ・パティを務めたメンバーが始じること、アドリブもほんぽん飛び出す楽しい紹介になりました。

続いてはこちらもお馴染みのカーペンターズのナンバー「Yesterday once more」の2曲。

「Sing」はいつもの様にステージを降りて会場を回りながら歌う姿月。



歌い終わりステージに戻ると、地元ならではのリラックスした大阪弁トークが始まります。

歌い終わりステージに戻ると、地元ならではのリラックスした大阪弁トークが始まります。標準語と大阪弁の切り替えが難しいという話を、掛け算の九九のイントネーションを例に説明する姿月。神奈川県出身のドラマスの真矢が逆に関東のイントネーションの九九を披露させられ、ステージと客席が笑いに包まれます。

そしてルイ・アームストロングの名曲「What a wonderful world」/映画「ゴースト」/「ヒーローの幻」で有名な「Unchained Melody」へと。こちらも姿月の宝塚退団公演「GLORIOUS」で歌われた曲なの

で、思い出深いファンの方も多かったのではないのでしょうか…

続いて披露されたのは、このライブが開催された季節にちなんで選曲された松任谷由美の「春よ、来い」と、姿月本人が好きな歌だという小田和正の「たしかなこと」。

どちらの曲もステージで歌うのは初めてでしたが、これから先も何度か聞かせてほしいと思わせる感動の歌声でした。

そして、「翼をください」「大都会」というお馴染みのレパートリーを経て、ライブは後半へと。

再び大阪ネタから始まったトークはミュージカル「ドラキユラ伝説」の話題へと移り、其演の松平健さんの印象などをユーモアたっぷりに話す姿月に、会場は大ウケです。

ミュージカルの話題にちなんだ「Somewhere」「愛と死の輪舞」の2曲に、ヒットポップス「You raise me up」「All By Myself」の2曲が続き、日姿月は退場。そして衣装をチェンジしてアンコールで円熟の「リベルタンゴ」と「祈り」が披露された後、トリを飾った曲は美空ひばりの「愛燦燦」。

これも彼女にとつては初めてのステージで歌う曲になりますが、優しく、けれどしっかりと感謝の気持ちを込めて歌い上げる姿月あさこの心が聴く者に静かに染み込んでくるような素晴らしい歌ではないでしょうか。

このコンサートを通じて彼女がファンに伝えたかったもの、それが歌声に込められ会場に拡がっていくのが確かに見えた、そんな気にさせてくれる曲でした。

### 超レアモノ！ 大阪限定のグッズが大好評！



会場では、たこ焼きを持ったZUN-CHANのワンポイントがかわいい2色のタオルハンカチとメモリアルフォトブック、直筆サイン入りカレンダーの3点を販売。どれも大阪限定とあって、大好評でした。ファンクラブではこれからファンの皆様にご用意してお待ちしております。

※ファンクラブでは特別に「メモリアルフォトブック」を再販いたします。次項をご覧ください。

# Surprise! & Gratitude!

初日のステージが終わったその夜、スタッフ全員の親睦ミーティングが大阪の街で開かれました。

姿月本人は都合が合わず参加できなかったのですが、逆にそれがきっかけになってあるプランが生まれることになったのですから、今思えばその日の彼女の不参加はスタッフにとつて、そして彼女にとつても幸運だったのではないのでしょうか(笑)

じつは、翌日の姿月の誕生日コンサート前のパーティケーキを用意して、

それをどのタイミングでステージに登場させようか、という話になった時、誰かがふと「ロウソク無しでシラケないかな?」と言いました。

会場では消防法の問題から火気厳禁なので、ロウソクを点けられないことは事前に解っていたのですが、そう言われてからあらためて考えてみると、ケーキが出てきて姿月が

びびくりした後の間、というものがどうにも締まらないものになってしまいそうなきがしてきました。

会場全員にクラッカーを配るのはどうか、というプランも出ましたが、火薬を使ったクラッカーを300近くも同時に鳴らして方が「スプリングラーが反応したら、それこそ大惨事になってしまいます。スタッフ全員でしばらく頭を捻ったところ、「くす玉」というプランが浮かびました。

前日の夜中なので大掛かりなものを用意できるはずありませんが、逆にパーティグッズとして売っている小さなものをケーキに付け会場近くの東急ハ○ズに売ってるはずだから明朝買えばいい、ということになり、まずは安心です。

「やっぱりケーキは社長が持つての登場でしょう!」とスタッフに推薦され、よし、引き受けた!と快諾した事務所の社長でしたが、「あ

何か会場全体で一体になれるものはないだろうか...と考え続けたところで「サイリウム(蛍光スティック)〜」とようやく誰かが思いつきました。

一人一人に配るとなると300近い数を集める必要がありますが、携帯サイトで検索してみると、小さな手首に着けるタイプもあるようです。

明日ハ○ズに行った時に売って無かったり足りなかったりすると「マジイから、今夜のうちに他もあたつてみよう」ということになり、一行は店を出て戎橋横のドン○ホーテに向かいました。そして、幸運なことを探していた商品は無事見つかり、そこで3個入りを100セットも買い占めることができました。

翌日の昼の部では、スタッフの思惑通り、くす玉ケーキの登場に姿

月「すげえーすげえー」とウケながらも、とても感激してくれて、まずは「安心」。

けれど、その後の夜の部のサブライズはもと準備が大変です。開演前にマイクを使って説明している姿月にばれてしまいますから、入場時に二人一人に説明しなければなりません。

会場入り口で企画の趣旨がプリントされた紙を配りながら、じつはスタッフ達には皆さんに上手くやっていただけただろうか、との不安も少しありました。

予定前に振られてしまったらどうしよう...と心配していたのです(笑)けれど、さすがは姿月ファン、結果は大成功!でしたね。

アンコールで再登場した姿月は、最初は会場で揺れるサイリウムを見て、何が起ったんだ?!という顔をしていましたが、突然始まったベースティンクの合奏を聞いて事情が解った後はとても喜んでいました。姿月あさとが向けた想いを、ファンの皆さんが受け止めて、また彼女にお返しをする。

本人はもちろん、そこに集まった彼女に関わる全ての人が幸せを感じる事ができた素晴らしいライブになりました。ご参加いただいた皆様、そして姿月あさとを応援し続けてくださる皆様に、あらためて感謝いたします。本当にありがとうございました。



Key. 門倉聡 / B.G. 千ヶ崎学 / G. 後藤秀人 / Dr. 真矢

## 「Club-Z」会員の皆様だけに特別販売!

「2010 Shizuki Asato Osaka Only Live」  
5枚組フォトセットを販売いたします。

セット価格1,500円  
※別途、送料・梱包料1,000円がかかります。

リハーサル時の  
未公開写真も含む



「2010 Shizuki Asato Osaka Only Live」  
姿月あさとサイン入り!  
メモリアルフォトブック

Osaka Only Live会場  
販売されたメモリアルフォトブックです。  
コンサートに参加出来なかった  
会員様のために、今回特別に  
通信販売いたします。  
なんと姿月あさとの直筆サイン入り!

価格2,000円  
※別途、送料・梱包料1,000円がかかります。



購入方法は、裏表紙の「Club-Z INFORMATION」をご覧ください。